



一般社団法人
液体バイオマス協会

資源エネルギー庁
調達価格等算定委員会 資料

2024年10月30日

資料3

資本費及び運転維持費の自然増の見込み

【資本費】

-設備更新や改良等により、資本費が増加の見込み。

【運転維持費】

-補修部品単価・工賃及び諸経費の上昇により修繕費の増加の見込み。

前提条件

- モデルプラントの規模（出力）：38,850kW
- 設備利用率：80%
- 稼働年数：50年

資本費

- 建設費：20万円/kW ⇒ 25.5万円/kW
- 設備の廃棄費用：建設費の5%

運転維持費：3.0万円/kW/年 ⇒ 3.3万円/kW/年

- 人件費：増加の見込み
- 修繕費：増加の見込み
- 諸費：増加の見込み
- 業務分担費（一般管理費）：増加の見込み

価格目標達成に向けた取組並びに当該取組による資本費及び 運転維持費の低減見込み

運転・保守ノウハウの蓄積や効率化によるコスト削減

予防保全による修理費用の削減
発電設備の遠隔監視システム導入による省人化
(夜間配置人員の削減)

発電設備の更なる効率化による燃料使用量の削減

排熱利用による配管加温設備などへの熱供給

設備利用率向上

パーム油発電の特性を活かしたベースロード電源としての更なる活用

上記取組による運転維持費の低減見込み

各取組の効果試算を行い、具体的な低減額の算出
今後の技術開発やコスト動向等を踏まえた定期的な見直し

価格目標達成に向けた取組並びに当該取組による資本費及び 運転維持費の低減見込み

燃料コストの削減・安定調達

● 燃料コスト削減

- ✓ パーム油の調達先の更なる多角化や燃料受け入れと備蓄体制の強化（タンク増設）による燃料一括購入を実現した価格交渉力の強化
- ✓ 国内外の需給動向を注視し、最適な調達戦略を構築
- ✓ 燃料輸送費コストの削減（タンク増設により、国内輸送費用年間約1億円の削減実績）

● 安定調達

- ✓ パーム油の長期契約や備蓄体制の強化
- ✓ サプライチェーン全体のリスク管理体制の強化
- ✓ 持続可能なパーム油調達に向けた国際認証制度への積極的な参画

1. FIT・FIP認定期間中

- 自立に向けた技術開発・燃料調達の安定化によるコスト低減の取り組みを推進
- 調達価格算定委員会、持続可能性WGへの要請に対し、対応を事業者目線で継続（GHG算定や新規燃料の議論を含む）

2. FIT・FIP認定期間終了後と新規開発事業への取り組み

- 機動性の高い液体バイオマス発電の以下の特性を活かし、容量市場や需給調整市場においても発電事業を展開
 1. 起動・停止の迅速性
 - ・ 起動時間：ディーゼルエンジンは、起動から10分以内に定格出力に到達することが可能
 - ・ 停止時間：定格運転中から10分以内に発電を停止することも可能
 2. 出力調整の柔軟性
 - ・ 微調整：1kWh単位での出力調整が可能、負荷変動の大きい需要にも対応可能
 - ・ 広範囲：最低負荷から最大負荷までの運転範囲が広く、多様な電力需要に対応可能



一般社団法人
液体バイオマス協会

一般社団法人液体バイオマス協会（LBA：Liquid Biomass Association）は、会員企業・団体が液体バイオマスに関連する社会・環境的影響を適切に理解し、液体バイオマス事業における持続可能性を高め、その利用・普及を促進することを目的として設立されました。

【主な事業】

液体バイオマスに関する、標準化及び規格化、生産・流通及貿易の促進、市場動向の調査、広報活動、コンサルティング、制作提言、人材育成、第三者認証機関への提言等

【主な活動内容】

- 液体バイオマスの持続可能性を高める運用方法及び会員への情報提供
- 液体バイオマスに関連する官民ステークホルダーとの意見交換・照会対応
- 持続可能な液体バイオマスに関する広報・普及活動

【会員企業】

株式会社エナリス
神栖パワープラント合同会社
ゼロワットパワー株式会社
南国殖産株式会社

【組織概要】

（役員）代表理事 柳田健一郎
理事 佐藤和彦 石濱寛徳 廣濱良平 川瀬太郎

（法人設立）2024年6月5日

（法人番号）7010405018976

（沿革）2019年4月 持続可能なバイオマス燃料発電コンソーシアム（JCSBG）設立

2020年8月 一般社団法人液体バイオマス発電事業者協会設立

2024年6月 JCSBGを発展解消し、一般社団法人液体バイオマス協会（LBA）に名称変更・設立

一般社団法人液体バイオマス協会
〒107-0052 東京都港区赤坂2-8-5若林ビル4F